

# インターネット接続編

1 準備 .....	60
2 ご参考 .....	70

# 1 準備

## インターネットへ接続するまでの手順

ここでは、ご使用の OS に付属しているソフトウェアで、インターネットに接続する手順について説明しています。  
本商品を使ってインターネットへ接続するまでの手順は、次のようになります。



プロバイダ

### プロバイダへ加入する

- インターネットサービスプロバイダ（プロバイダともいいます）は、インターネットへの接続業者です。インターネットに接続するには、プロバイダに加入する必要があります。
- プロバイダへ加入すると、ユーザID、パスワード、DNS サーバの IP アドレス、アクセスポイントの電話番号などの情報が通知されます。
- 料金やアクセスポイント、128 K マルチリンク PPP (MP) (☛「参考情報」) 対応、BACP (☛「参考情報」) 対応などを調べて、適したプロバイダを選択してください。詳細は、加入するプロバイダへお問い合わせください。



INS ネット 64

### INS ネット 64 回線に接続する

- 付属の電話機コードで、本商品背面の「LINE」と、壁などにあるモジュラジャックをつなぎ、電源を入れます。(☛取扱説明書 (簡易版)、P29)



パソコン

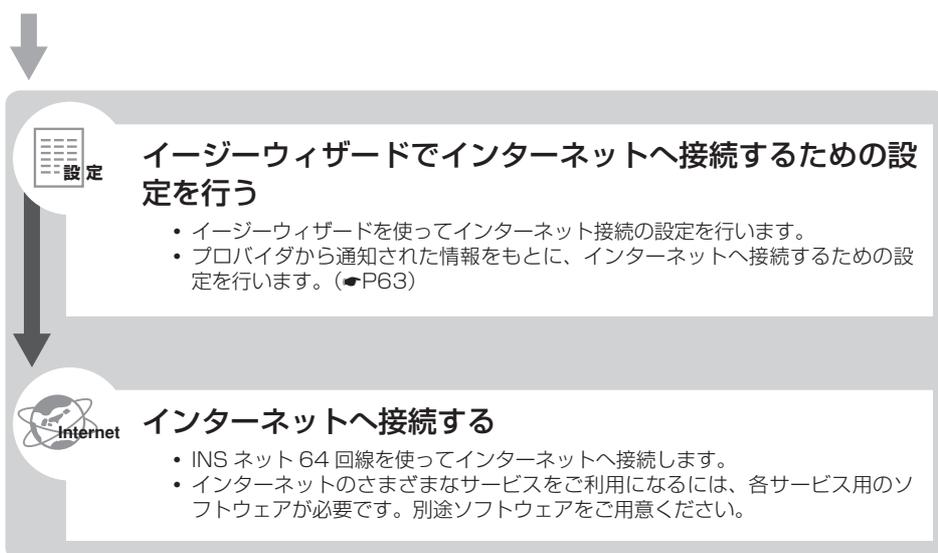
### パソコンとの接続方法を定める

- RS-232C ポートに接続する方法、USB ポートに接続する方法があります。



CD-ROM

### 必要なソフトウェアをインストールする (☛P38)

**ご参考** イージーウィザードを使わないで接続の設定を行う

- イージーウィザードをご利用になれない場合は、手動で設定を行います。
- インターネット接続に必要なソフトウェア (TCP / IP ソフトウェア、PPP モジュール) がパソコンにインストールされているかどうかを確認します。必要なソフトウェアがない場合は、各ソフトウェアの CD-ROM などからインストールします。
- プロバイダから通知された情報をもとに、インターネットへ接続するための設定を行います。  
付属の CD-ROM 「参考情報」に収録した「手動設定編」を参照してください。

# 1 準備

## 必要なものを確認する

ご使用の OS に付属しているソフトウェアを利用して、インターネットに接続するための設定を行う必要があります。接続の設定を行う前に、必要なものを確認しておきましょう。

### ■ インターネット接続に必要なソフトウェア

Windows® には、インターネットで標準となっている通信プロトコル（TCP/IP）を利用するためのソフトウェア、プロバイダのアクセスポイントにダイヤルしてサーバに接続するためのソフトウェアが付属しています。

### ■ ブラウザ

ホームページを見るためのソフトウェアです。Web ブラウザ、WWW ブラウザということもあります。代表的なブラウザとして、Microsoft Edge®、Internet Explorer® があります。OS に付属しているソフトウェア以外の市販品、フリーウェアを利用することもできます。

### ■ 電子メールソフト

インターネットで電子メールを送信、受信するためのソフトウェアです。Windows® 10、Windows® 8.1 は標準の Windows メールが利用できます。Windows® 7 は OS 付属のメールソフトがありませんので、市販品またはフリーウェアをご利用ください。



#### お知らせ

- 本書での説明は、一例を示しています。詳細は、ソフトウェアメーカ、パソコンメーカ、インターネットサービスプロバイダなどお問い合わせください。
- Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 ではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とアイコン表示モード（大きいアイコン/小さいアイコン）があります。この取扱説明書の画面は通常表示モードを前提に記述しています。
- 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

# 1 準備

## イージーウィザードで接続の設定をする

イージーウィザードを使って、インターネット接続に必要な設定を行うことができます。

設定には、プロバイダから通知されたユーザ ID、アクセスポイントなどの情報が必要です。

この作業を行う前に、本商品にパソコンを接続する準備とアナログポートの簡単設定を行ってください。詳しくは、「パソコン準備編」(P35)を参照してください。

「アナログポートの簡単設定」に続けてインターネット接続の設定を行う場合は、手順 4 から開始します。

1 準備

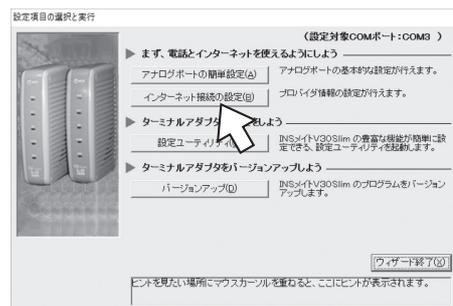
2 ご参考

1 本商品とパソコンの接続を確認して、それぞれの電源を入れる。

2 イージーウィザードを起動する。(P50)

3 [設定項目の選択と実行] 画面で、「インターネット接続の設定」をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。



4 [次へ>] をクリックする。



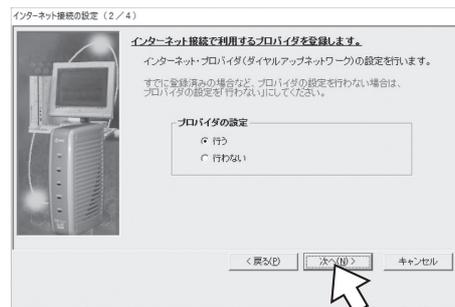
(次ページへ続きます)

# イージーウィザードで接続の設定をする

(前ページの続きです)

## 5 [プロバイダの設定] の [行う] が選択されていることを確認し、[次へ>] をクリックする。

設定を中止するときは、[行わない] を選択してください。



## 6 プロバイダの情報を設定し、[次へ>] をクリックする。

### • アクセスポイント情報 / ID・パスワード

[接続先名] : 接続するプロバイダ名など、わかりやすい名前を入力します。

[電話番号] : アクセスポイントの電話番号を入力します。

[接続速度] : 利用する接続速度を選択します。

- 同期 64 kbit/s のアクセスポイントへ接続するとき [SYNC (64kbps)]
- MP128 kbit/s のアクセスポイントへ接続するとき [MP (128kbps)]

[ログイン ID] : プロバイダから通知されたログイン ID (ユーザ名、アカウント名など) を入力します。

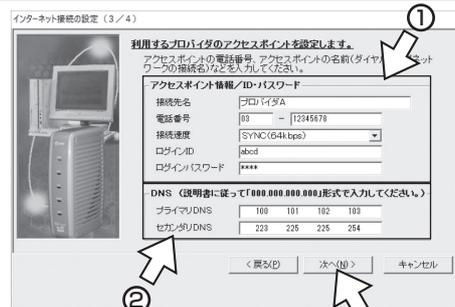
[ログインパスワード] : プロバイダから通知されたパスワードを入力します。

### • DNS

プロバイダから通知された DNS (ドメインネームサーバ) サーバの IP アドレスを入力します。プロバイダによっては、DNS サーバの IP アドレスを入力する必要がない場合もあります。

[xxx.xxx.xxx.xxx] のように入力します。XXX の部分は、3 桁以内の半角数字を入力します。最初の 3 桁の数字を入力すると、自動的にカーソルが次の 3 桁の入力位置へ移動するので、続けてすべての数字を入力してください。

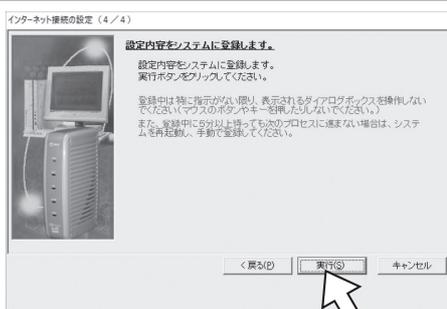
いずれかの入力位置で数字が 3 桁未満の場合は、「.」(ピリオド) を入力するか、右矢印キーを押して、次の入力位置へカーソルを移動してください。



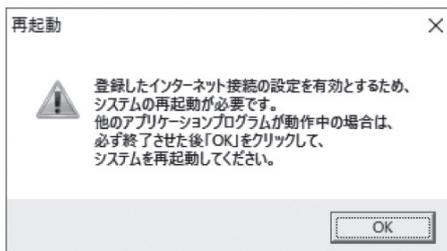
[入力値は例です]

## 7 [実行] をクリックする。

設定した内容でダイヤルアップ接続を登録します。登録後、設定を有効とするためのシステム再起動確認ダイアログが表示されます。



## 8 [OK] をクリックして、システムを再起動してください。



「インターネットに接続する」へ進みます。

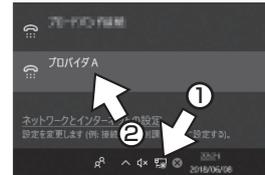
- Windows® 10 の場合 (☛P66)
- Windows® 8.1 / 7 の場合 (☛P68)

# 1 準備

## インターネットに接続する (Windows® 10)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。

- 1 タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、イーザーウィザードで作成したダイヤルアップ接続をクリックする。



- 2 イーザーウィザードで作成したダイヤルアップ接続を選択し、[接続]をクリックする。



- 3 [ユーザー名]、[パスワード]が入力されていることを確認し、[ダイヤル]をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルし、回線が接続されます。



[入力値は例です]

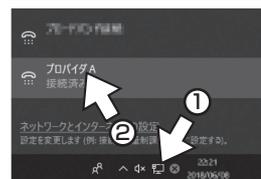
インターネット接続時は、タスクバーのネットワークアイコンの表示が右図のように変わります。



#### 4 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。  
ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。

#### 5 終了するときは、タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、該当するダイヤルアップ接続をクリックする。



#### 6 ネットワークとインターネット設定のダイヤルアップ接続一覧から該当するダイヤルアップ接続をクリックし、[切断] をクリックする。



#### お知らせ

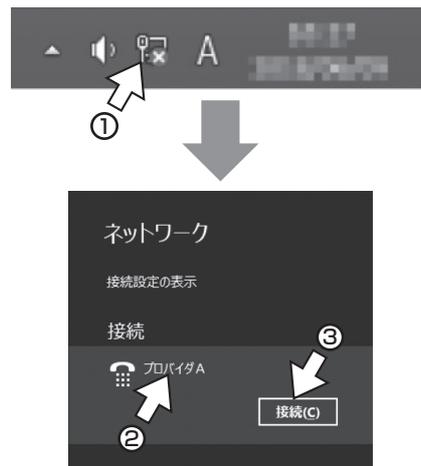
- 回線を正常に切断できない場合には、本商品の電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。
- 接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

# 1 準備

## インターネットに接続する (Windows® 8.1 / 7)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。  
画面は Windows® 8.1 の例です。

- 1 タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、イーージーウィザードで作成したダイヤルアップ接続を選択し、[接続] をクリックする。



- 2 [ユーザー名]、[パスワード] が入力されていることを確認し、[ダイヤル] をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルし、回線が接続されます。



インターネット接続時は、タスクバーのネットワークアイコンの表示が右図のように変わります。



### 3 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。  
ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。

### 4 終了するときは、タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、該当するダイヤルアップ接続を選択し、[切断]をクリックする。



#### お知らせ

- 回線を正常に切断できない場合には、本商品の電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。
- 接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

### 手動設定について

付属の CD-ROM「参考情報」の「手動設定編」は、イーージーウィザードを利用できない場合のソフトウェアのインストール、インターネット接続の設定についての説明を収録した電子マニュアルです。必要に応じて参照してください。

#### 付属の CD-ROM「参考情報」の手動設定編の内容

イーージーウィザードが利用できない場合に必要なソフトウェアをインストールする方法、インターネット接続の設定を行う方法について説明します。

**●インターネットにうまく接続できないときは**

インターネットに接続できないときの、主なチェックポイントです。「故障かな?と思ったら」(●P182) と合わせてご確認ください。

**●アクセスポイントの電話番号**

電話回線用(モデム用)や非同期 V.110 のアクセスポイントでは通信できません。利用する通信モードのアクセスポイントに設定されているか確認してください。

**●ドメインネームサーバの IP アドレス**

「DNS 項目にありません」「このサーバーは見つかりません」などの通知が表示される場合は、DNS(ドメインネームサーバ)の IP アドレスやドメイン名の設定が間違っていないか確認してください。

**●ユーザ名、パスワード**

本商品の ACT ランプが点灯したあとに切断されるような場合は、ユーザ名(ユーザ ID、PPP ログイン名などと呼ばれることもあります)、パスワードが正しく設定されているか確認してください。大文字、小文字の違いを正しく設定しているか確認してください。

**●インターネットにつながらない**

- USB ポートをご利用の場合  
USB ドライバーをインストールしていない場合はインストールしてください。(●P41)
- RS-232C ポートをご利用の場合  
本商品とパソコンの通信速度が一致していないことが考えられますので、パソコンの通信速度の設定を確認してください。
- 接続先モデムの確認  
作成したダイヤルアップ接続の接続画面からプロパティをクリックして開き、[接続先の方法]で INSMATEV30Slim が選択されていることを確認して下さい。

**●所在地情報**

所在地情報が正しく設定されているか確認してください。

所在地情報は次の方法で確認できます。([国名/地域]には[日本]を選択してください。)コントロールパネルの表示方法を[小さいアイコン]に変更し、[電話とモデム]をクリックする。

## インターネットにうまく接続できない ときのチェックポイント

### ● Q&A

**Q. 接続可能なインターネットサービスプロバイダの条件には何があげられますか。**

A. 同期 (64 kbit/s)、または MP (128 kbit/s) のアクセスポイントを持つインターネットサービスプロバイダであれば接続可能です。非同期 V.110 のアクセスポイントには接続できません。

**Q. フロー制御は何をサポートしていますか。**

A. RS/CS によるハードフローをサポートしています。

**Q. データ通信の接続手順は何ですか。**

A. AT コマンドです。V.25bis などには対応していません。

**Q. データ通信の MP (PPP Multilink Protocol) には対応していますか。**

A. 対応しています。MP 方式のアクセスポイントを持つインターネットサービスプロバイダに接続するときは、B チャンネル 2 本を使用して 128 kbit/s のデータ通信ができます。

**Q. ターミナルソフトで AT と入力したが OK が返ってこないのですが。**

A. 次の点を確認してください。

- ・ AT の次にリターンキーを押しましたか。
- ・ aT や At と入力していませんか。
- ・ 漢字変換により全角文字になっていませんか。
- ・ RS-232C ポートをご利用の場合
  - ・ RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか。
  - ・ RS-232C ケーブルは付属品 (ストレートタイプ) で接続していますか。
  - ・ 本商品とパソコンの通信速度は一致していますか。
- ・ USB ポートをご利用の場合
  - ・ USB ケーブルは正しく接続されていますか。
  - ・ USB ドライバーをインストールしましたか。

**Q. AT コマンドによる設定は 1 コマンドずつしか記述できませんか。**

A. AT コマンドは連続して記述できます。

**Q. インターネット接続のための設定は。**

A. 接続先のインターネットサービスプロバイダの指定に従った設定が必要です。一般的には、DNS サーバの設定、通信モード (同期 64 kbit/s または MP128 kbit/s)、アクセスポイントの電話番号、ユーザ名およびパスワードの設定が必要です。

**Q. DNS とは何ですか。**

A. Domain Name Server の略で、数値 (例えば 111.11.2.3 など) ではわかりにくい端末のアドレス体系を、人間にわかりやすい文字列 (ドメインネーム: 例えば ced.nttca.com など) で表現できるようにするものです。